

小テスト

問題 2つのベクトル $\mathbf{A} = 3\mathbf{i} + 6\mathbf{j} - 2\mathbf{k}$ と $\mathbf{B} = 4\mathbf{i} - 2\mathbf{j} + 4\mathbf{k}$ がある。 \mathbf{A} と \mathbf{B} のなす角を θ とするとき、 $\cos \theta$ の値を求めよ。ここで、 $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は直交座標系の単位ベクトルである。

4/23 の積み残し

問2 次の問題に答えよ。

- (1) 三角形 ABC の頂点 A, B, C の位置ベクトルをそれぞれ $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ とする。このとき、三角形 ABC の重心 G への位置ベクトル \mathbf{g} は $\mathbf{g} = \frac{\mathbf{a} + \mathbf{b} + \mathbf{c}}{3}$ であることを示せ。
- (2) 同様にして、四面体 $ABCD$ の重心 G の位置ベクトル \mathbf{g} は、 $\mathbf{g} = \frac{\mathbf{a} + \mathbf{b} + \mathbf{c} + \mathbf{d}}{4}$ であることを示せ。 $(\mathbf{d}$ は頂点 D の位置ベクトルである)

問1 ベクトル \mathbf{A} の大きさが時間に対して一定であれば、ベクトル \mathbf{A} と $\frac{d\mathbf{A}}{dt}$ は互いに垂直であることを示せ。

- 問2 (1) $\mathbf{i} \times \mathbf{i} = \mathbf{j} \times \mathbf{j} = \mathbf{k} \times \mathbf{k} = \mathbf{0}$ および $\mathbf{i} \times \mathbf{j} = \mathbf{k}, \mathbf{j} \times \mathbf{k} = \mathbf{i}, \mathbf{k} \times \mathbf{i} = \mathbf{j}$ を用いて、 $\mathbf{A} = A_x\mathbf{i} + A_y\mathbf{j} + A_z\mathbf{k}, \mathbf{B} = B_x\mathbf{i} + B_y\mathbf{j} + B_z\mathbf{k}$ ならば $\mathbf{A} \times \mathbf{B} = (A_yB_z - A_zB_y, A_zB_x - A_xB_z, A_xB_y - A_yB_x)$ であることを示せ。
- (2) (1)において、ベクトル \mathbf{A}, \mathbf{B} の間の角度を θ とすると、 $|\mathbf{A} \times \mathbf{B}| = |\mathbf{A}||\mathbf{B}|\sin \theta$ となることを示せ。

問3 次の式の証明を行え。

- (1) $(\mathbf{a} - \mathbf{b}) \times (\mathbf{a} + \mathbf{b}) = 2\mathbf{a} \times \mathbf{b}$
- (2) $\mathbf{a} + \mathbf{b} + \mathbf{c} = \mathbf{0}$ ならば $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \mathbf{b} \times \mathbf{c} = \mathbf{c} \times \mathbf{a}$ である。
- (3) $\mathbf{A} \cdot (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = 0$
- (4) $\mathbf{A} = 2\mathbf{i} - 3\mathbf{j} - \mathbf{k}$ と $\mathbf{B} = -6\mathbf{i} + 9\mathbf{j} + 3\mathbf{k}$ は平行である。(外積を用いよ。)

問4 時刻 t での質点の位置ベクトルが以下に示す $\mathbf{r}(t)$ で与えられている。この時の質点の軌跡を図示せよ。さらに、速度ベクトル、加速度ベクトルを求め、その軌跡も図示せよ。ただし、 $a, b, g, h, k, \lambda, \omega$ はそれぞれ時間に依存しない定数である。

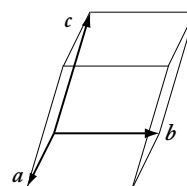
- (1) $\mathbf{r}(t) = (at + b)\mathbf{i} + \left(\frac{1}{2}gt^2 + ht + k\right)\mathbf{j}$
- (2) $\mathbf{r}(t) = ae^{\lambda t}\mathbf{i} + be^{-\lambda t}\mathbf{j}$
- (3) $\mathbf{r}(t) = a \cos \omega t \mathbf{i} + b \sin \omega t \mathbf{j}$

問5 位置ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を頂点とする三角形の面積が $\frac{1}{2}|\mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{b} \times \mathbf{c} + \mathbf{c} \times \mathbf{a}|$ であることを示せ。

問6 下図のような平行六面体を考える。 $\mathbf{a} = (2, 1, -1), \mathbf{b} = (0, 3, 0), \mathbf{c} = (1, 1, 4)$ とする。

(1) この平行六面体の体積をベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を使って表せ。

(2) (1) で求めた式を計算し、平行六面体の体積を求めよ。



問7 次の直交座標 (x, y, z) で表示された点を、円筒座標 (r, θ, z) および極座標 (r, θ, ϕ) で表せ。

- (1) $(1, 1, 1)$ (2) $(3, -\sqrt{3}, 2)$ (3) $(-3, -4, -5)$

問8 (基本) デカルト座標で表される単位ベクトル $\mathbf{e}_x, \mathbf{e}_y$ を2次元の極座標の単位ベクトル $\mathbf{e}_r, \mathbf{e}_\theta$ で表せ。

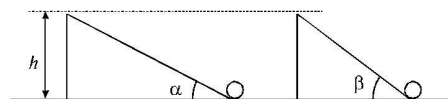
レポート問題 (4) 中島班 2007/5/7

A4 レポート用紙に解答を記入すること。学生番号、名前を記入し、2枚以上の時は必ず左上をホッチキスで止めて提出のこと。小テスト直後に回収します。

- Q1 (1) 外力 \mathbf{F} によって物体を \mathbf{r} だけ動かしたときの外力がした仕事 W を求めよ。
(2) $-y$ 方向に mg の重力が作用する xy 空間がある。いま、原点 $(0, 0)$ にある物体を座標 $(5, 3)$ に移動するために必要な仕事を求めよ。

Q2 右図を見て答えよ。

重さ m の物体を摩擦のある斜面に沿って高さ h までゆっくり持ち上げる。斜面の角度はそれぞれ α, β ($\alpha < \beta$) で、斜面の動摩擦係数はどちらも μ である。物体を高さ h まで持ち上げる仕事は幾らか。また、摩擦がない時の両者の仕事の差は幾らか。



注意事項

- ベクトルは、太文字 $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}, \dots$ で示すこと。
- 紛らわしい文字 (\mathbf{x} [エックス], χ [カイ]), (\mathbf{v}, \mathbf{u}) などの書き方の違いに留意せよ。
- 2回以上、解答演示すること。[単位認定の条件]
- <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~nobuo/physsciex.html> に問題がある。